

全事研への組織加入についての私の思い

私の希望として、全事研へ加入していたほうが9年度の大会運営や今後の宮城県にとって有益だと思いましたので出来るならそうあって欲しいと思っています。

全国の事務職員を取り巻く流れや取り組みの情報に宮城県・宮事研が取り残されているのは間違いないと思うので、

① 全事研組織がどんなものかわからないからどちらともいえないという大半の方に対し研修や講演で全事研組織の意義や多くの都道府県が取り組んでいる未来に向けての活動を知っていただく機会を確保すること

② それらを伝える役割の役員がまず全事研や宮城支部の活動や情報を知る機会を確保すること

③ その上で会員の理解や意識が醸成されていくことを前提に、近い将来加入を承認いただけるよう改めて会員に諮るまでの計画を示すこと

を提案します。

I T化で給与旅費会計といった既存の業務が我々学校事務の業務の中でどんどん割合を減らしています。一方で、これまではあまり直接的には担ってこなかったマネジメント業務（ヒト・モノ・カネ・情報を管理し学校運営に活かす役割）に、事務や共同実施組織が携わることを国や社会や国民から期待されています。その期待に応えられずこれまで通りの業務を行っていても、「将来なくなる職業」が現実のものとなります。（なくなるいまでも、正規雇用じゃなくてもいいよねとなる可能性はあると思います。）

中堅以下の事務職員にとっては今からの取り組み如何によって学校事務でいられなくなるかどうかの瀬戸際だと思います。やりがいを持って将来も働いていける職業とするためには、国そして全国の仲間たちの取り組みの情報を常に仕入れていくことが今後重要となっていきます。

自分たちがいる間にはどうせ制度は変わらないとか、全事研がやっていることが難しすぎて日常業務とかけ離れているとか、組織加入すると役割や金銭的にも負担が増えるなど、変化や負担を望まない方がいます。確かにそうかもしれませんが、

未来を担う次世代の若者たちのため、宮事研が全国から取り残されず将来を描けるような組織になるため、これまでの皆さんの貴重な経験や知恵が次世代に継承されるため、皆で取り組める組織になればいいなと思います。

共同実施は現状の実務を共同処理します。事務研組織は今は実務研修が主体となっています。それも大事だし、とても良いのですが、それだけでは、今日が良くなったとしても、将来どうなっていくのか先が見通せません。将来のため、もっと良くなるための情報や研究が、一人職である学校事務には必要です。でも、一人で情報の収集や研究を行うのは限度があります。事務研組織はそこを補う役割も担っていると思います。今日より明日が少しでも良い日になるための情報やヒントが全事研にはあると思います。肩肘張らず情報源として全事研を活用していく、という意味でも、組織加入を前向きにご検討いただければ幸いです。

ただでさえ現状でも日々の業務に忙殺されているのはわかります。私もそうです。本当にやりたいことが出来ない悩みを抱え日々悶々としています。でも、何もしなければ何も変わりません。一歩でも半歩でも前を向いて進んでいきたい。それが私の思いです。